

## しあわせ家族計画 字幕

### Chapter3: Lunch Shop Opens

- 富士夫 : ええ、あと15分ほどで開店しますので、もう少々お待ちください<sup>1</sup>  
あっ、いらっしやいませ  
いらっしやいませ
- 優子 : もう時間ないからさ、もう緊張してきちゃったよ<sup>2</sup>
- 義造 : おい、もういいから、外見て来いよ
- 恒子 : あんた、ほらあ  
すっごい
- 優子 : じゃ、あけるわよ
- 優子 : お待たせいたしました  
どうぞ、お入りください
- 義造 : はい、いらっしやい  
ええ、はい、いらっしやい  
和菓子、和菓子、やすい  
はい、こっちは和菓子ですよ  
和菓子どうぞ
- 優子 : ハンバーグ弁当、1つお願いします  
はい、幕の内<sup>3</sup>、お願いします  
本日<sup>4</sup>、これオススメになってますけども<sup>5</sup>  
オススメ、1つお願いします  
お味噌汁、サービスさせていただきますけども、どうします
- 義造 : こんな出来合いのまずいもの<sup>6</sup>、食べるか<sup>7</sup>
- 優子 : お次の方
- 恒子 : こちらもいかがですか
- 優子 : お次の方、どうぞ
- 客 : ミックス弁当お願いします
- 優子 : はい、かしこまりました<sup>8</sup>  
ミックス弁当おねがいします
- 女子1 : あたまいいんだね、川尻さん  
英会話<sup>9</sup>、習ってる
- 陽子 : ううん、独学<sup>10</sup>

- こうこうせい  
高校生になったら、アメリカに留学<sup>11</sup>したいなって
- じょし  
女子2 : へええ、いいね
- じょし  
女子1 : ね、今度<sup>こんど</sup>みんなで原宿<sup>はらじゆく</sup>行<sup>い</sup>くんだけど、一緒<sup>いっしょ</sup>に来ない
- ようこ  
陽子 : いいの
- じょし  
女子2 : あ、広瀬<sup>ひろせ</sup>
- じょし  
女子1 : 目<sup>め</sup>合わしちゃダメだよ<sup>13</sup>  
あいつら、ヤバいから<sup>14</sup>
- だんし  
男子 : ブス<sup>15</sup>
- じょし  
女子2 : バッカみたい<sup>16</sup>
- ひろせ  
広瀬 : 自宅待機<sup>17</sup>
- ぶちょう  
部長 : そう
- ひろせ  
広瀬 : しかし僕はこれまで、営業成績<sup>えいぎょうせいせき</sup><sup>18</sup>で3位以下<sup>いいか</sup><sup>19</sup>に落ちた事<sup>お</sup>、一度<sup>こと</sup>もないんですよ  
部長 : それがどうしたって言うんだい<sup>20</sup>  
かいしゃ ほんだん  
会社の判断<sup>21</sup>なんだから、従<sup>したが</sup>ってもらうしかないんだ<sup>22</sup>  
それじゃ
- しながわ  
品川 : 君<sup>きみ</sup><sup>23</sup>も営業<sup>えいぎょう</sup><sup>24</sup>をやっていたから分かるだろうが、単<sup>たん</sup><sup>25</sup>に商品<sup>しょうひん</sup>を売るだけじゃダメなんだ<sup>26</sup>  
そこにも書<sup>か</sup>いてあるが、情報<sup>じょうほう</sup>も売<sup>う</sup>っていかなきゃならん<sup>27</sup>  
そうした消費者<sup>しょうひや</sup>のニーズ<sup>こた</sup>に応<sup>か</sup>えられる<sup>28</sup>ような会社<sup>かいしゃ</sup>を作<sup>つく</sup>れば、確<sup>かく</sup>実に利益<sup>りえき</sup>をあげられると思うんだ
- ふじお  
富士夫 : なるほど  
インターネットを、こうした形<sup>かたち</sup>で利用<sup>りよう</sup>するってのは、面白<sup>おもしろ</sup>いですね
- しながわ  
品川 : どうかね  
いっしょ しんがいしゃ つく  
一緒に新会社<sup>29</sup>を作<sup>つく</sup>ってみたいか  
そしてぜひ、役員<sup>やくいん</sup>として参加<sup>さんか</sup>してくれないか  
きみ どうき やまがたくん こえ  
君<sup>きみ</sup>と同期<sup>29</sup>の山形君<sup>やまがたくん</sup>にも、声<sup>こえ</sup>をかけてあるんだ<sup>30</sup>
- ふじお  
富士夫 : 役員<sup>やくいん</sup>、ですか
- しながわ  
品川 : まあ、報酬<sup>ほうしゅう</sup><sup>31</sup>は最初<sup>さいしょ</sup>から高額<sup>こうがく</sup>という訳<sup>わけ</sup>にはいかないが<sup>32</sup>  
インセンティブシステム<sup>33</sup>をとるつもりなんだよ
- ふじお  
富士夫 : インセンティブ
- しながわ  
品川 : 資本金<sup>しほんきん</sup><sup>34</sup>を出<sup>だ</sup>してもらって代<sup>か</sup>わりに<sup>35</sup>、利益<sup>りえき</sup>を還元<sup>かんげん</sup>する<sup>36</sup>システムなんだよ

わる とうしょ わたし かぶ わり も  
悪いが当初は、私が株の6割を持っておきたい  
で、君と山形君は、200万ずつという事になるが、まあ、考えてみてくれ

ふじお  
富士夫

: ええ

ゆうこ  
優子

: 450円いただきます

またお待ちしてます

どうもありがとうございましたあ

よしぞう  
義造

: やりやがったな<sup>37</sup>

ゆうこ  
優子

: なんで店の足、引っ張ってんのよ<sup>38</sup>

よしぞう  
義造

: これは、俺<sup>39</sup>の店なんだよ

ゆうこ  
優子

: 俺の店って何よ、あれだけ話し合いしたじゃないのよ

ふじお  
富士夫

: ただいま

ちよつとね相談がある、ちよつと相談がある

ゆうこ  
優子

: 今ちよつと忙しいから、後でね

ふじお  
富士夫

: いい話

よしぞう  
義造

: 哲

ゆうこ  
優子

: 哲男さん